

しらかわ

# 議会

第147号

平成22年11月1日

[発行]  
東川町議会

[編集]  
議会報編集  
特別委員会

〒071-1492

北海道上川郡東川町東町1丁目

☎0166-82-2111



## 高橋知事 災害視察に来町

第3回定例会を開催	2
一般質問	4
委員会報告	8
議案審議	10
議会日誌・編集後記	12

## 第3回 定例会を開催

- 第3回定例会を、9月15日から16日までの2日間開きました。
- 5名の議員が天人峡・旭岳温泉等の豪雨被害などについて、一般質問しました。
- 平成21年度一般会計・5特別会計の歳入歳出決算及び土地開発基金運用状況について提案理由の説明があり、川島監査委員より審査報告がありました。
- 平成22年度一般会計・診療所特別会計補正予算案、及び定住自立圏協定の締結、土地の取得、各種条例・報告などについて審議し、原案可決または報告済としました。
- 新教育委員会委員の任命、新固定資産評価審査委員会委員の選任、新人権擁護委員の推薦について同意しました。

### 補正予算

## いきいきセンター2階を改修

一般会計補正予算額を約8144万円を増額し、総額は約51億1538万円になりました。

また、地方債補正をしました。一般単独事業債から辺地対策事業債に、2億5790万円を変更しました。

辺地対策事業債は、天人峡天津橋架け替え事業4880万円・第3地区地域センター建設事業1億6550万円・キトウシ森林公園駐車場整備事業1100万円・生活飲用水整備事業・キトウシ森林公園内施設改修事業430万円です。主な事業は次のとおりです。

①普通財産維持管理事業  
(6720万円)

いきいきセンター2階改修工事などを行います。

②包括的支援事業

(242万円)

要介護者などが利用する通院・福祉サービス用福祉車両の購入経費です。

③水資源保全事業

(215万円)

11月10日開催予定の安全・安心でおいしい地下水サミット協議会負担金などに支援します。

④林業振興事業

(94万円)

エゾシカ被害防止緊急捕獲事業委託料として道が2分の1補助します。

⑤中小企業育成事業

(約1653万円)

天人峡・旭岳温泉地区豪雨災害支援事業における中小企業融資保証料・利子補給金、預託金などに充当します。

⑥観光地振興対策事業

(1020万円)

豪雨災害復興キャンペーン広告宣伝委託料、温泉宿泊者に復旧記念新米東川ゆめびりか1kgブレ

セントなどに補助します。

⑦重点分野雇用創造事業

(672万円)

観光客誘致キャンペーンの person 費です。

国民健康保険東川町立診療所特別会計補正予算額を、1434万円増額し、総額は約3億3654万円になりました。

主に職員退職手当組合別負担金などの一般会計の職員人件費からの振替です。



豪雨による土砂崩れ

# 定例会を開催

## 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定

辺地地区に上岐登牛辺地（辺地人口66人、面積19・20㎏）と東忠別辺地（32区・33区・34区・35区・旭岳・天人峡、辺地人口350人、面積18・0㎏）とする総合整備計画です。

平成22年度から平成26年度までの5年間で道路整備・改修事業、観光又はレクリエーションに関する施設、飲料水供給施設、消防施設など公共的施設の整備計画を策定しました。

## 平成21年度の各決算認定について

一般会計・国民健康保険特別会計・簡易水道事業特別会計・公共下水道事業特別会計・国民健康保険東川町立診療所特別会計・宅地造成事業特別

会計の歳入歳出決算および土地開発基金運用状況について、合田副町長から説明を受け、川島勲代表監査委員から決算審査報告が提案されました。

議長と議会選出の監査委員を除いた12人で「決算審査特別委員会」を設置し、審査を行います。

委員長 藤原啓子議員  
副委員長 米田 保議員

## 定住自立圏の形成に関する協定の締結について

協定は、旭川市と東川町が連携して、安心して暮らせる圏域を形成することを目的としています。基本方針として定める政策分野において、お互いに役割分担をして、協力・連携することを規定しています。

連携する事項としては、生活機能の強化（医療の二次救急医療連携・産業振興の広域観光ネットワーク等）、結びつきやネ

ットワークの強化（地域の生産者や消費者等の連携による地産地消等）、圏域マネージメント能力（圏域内市町職員の資質の向上を図る人材育成等）に係る政策分野です。

## 請負契約の変更

東川町学校教育施設（第一・第二・第三小学校）耐震改修工事請負契約の変更を可決しました。

## 土地の取得

第三地区地域センター建設用地として、宅地約18,739㎡を、東川町土地開発公社より約1279万円で取得することを可決しました。

## 人事案件に同意

固定資産評価審査委員会委員、八木 隆司氏の選任に同意しました。教育委員会委員に石本宝子氏の任命に同意しました。

人権擁護委員、馬場

猛氏の推薦に同意しました。7月16日に開催しました。

## 第5回臨時会

一般会計補正予算額は、約1305万円を増額し、総額は約50億3394万円になりました。主なものは次のとおりです。

- ①東川町共生サロン維持管理事業（706万円）
- 厨房備品や電化製品、指定管理委託料などの施設運営費です。
- ②農業委員会費（約279万円）

農地制度改正に伴う補助金を、主に臨時職員給与費と農業委員費に充当します。

東川町共生サロン管理条例を制定しました。サロン建設工事請負契約を可決しました。

## 全員協議会

9月2日、町長部局より8月24日未明からの天人峡・旭岳温泉地区の集中豪雨災害の報告を受けました。今回の災害を教訓とし、問題点や改善策を精査するなど、両温泉地区の復旧対策について説明がありました。

辺地総合計画、定住自立圏形成協定の締結など10項目について説明がありました。



共生サロン ころろ

# ここが聞きたい 一般質問

**問** 子育て家庭へ経済的支援を幅広く取り組んでいる



原 博

センター保育料の減免の拡大について、今後の取り組みを伺います。

**町長**

**質問**  
高齢化・少子化の今、母親が育児に様々な不安を抱え、悩みを持っています。

子育て支援の方策として、経済的支援、精神的な負担の軽減を図るための激励、ネットワークによる情報交換、教育支援などが考えられます。

さまざまな人との「ふれあい」を通して、母親としての本来の力が発揮されます。周囲に育児を助けてもらう覚悟も必要です。

経済的かつ教育的支援等については、次世代育成支援計画やくらしの便利帳に掲げていますように、幅広く取り組んでいます。

子育てを楽しんでいると感じられるような地域に密着した支援策が重要です。

特に経済的な支援も広範にわたっていて、中には本町独自のものもあります。

不安定な社会経済情勢の中、養育・教育・医療費、経済的な負担は深刻です。

医療費助成制度・幼児

環境づくりにより、尚一層努めます。

**問** 不登校児に自然体験学習を機会会の充実に努める

**質問**

急激に変化する社会の中で、「主体的に生きる」「個性豊かに生きる力」を伸ばすことも必要です。

不登校の子どもに対し、本町の持っている雄大な自然とふれあう体験学習の取り組みも必要です。所見を伺います。

**教育長**

学校教育において、基礎・基本的な学力の確実な定着、ひとりひとりの個性を生かす教育の充実を図り、学校と家庭・地域に開かれた学校づくり

不登校の児童生徒を出さないためにも、本町の豊かな自然環境を活用した活動を積極的に取り組む

**問** 高齢者の生存確認を  
**答** 確認している

**質問**

全国で100歳以上の高齢者の生存未確認が350人、北海道で6人と

わが町の状況について伺います。

**町長**

100歳以上では、現在満101歳の方1名、

を考慮です。

各学校では、学校農園・炊事遠足・山の学校・植樹・愛護少年団活動などが行われています。

教育環境を充実させていくために、家庭・学校・地域・行政などが連携し、自然体験活動等の機会を充実に努めます。



99歳の方は2名で、いずれも在宅生活されています。

**再質問**

確認はどのようにしていますか。

**町長**

傘寿・米寿・白寿などのお祝時など、さまざまなお祝行政の中で確認しています。

# 一般質問

## 問 住民登録者の存在確認を 答 しっかりと調査し把握



佐竹 司 兆

### 質問

①町の住民基本台帳及び外国人登録原票に登録されている人数は何人ですか。登録せず在住している人数は何人ですか。

②住民・外国人登録されている人は全て所在確認されていますか。

③国勢調査人口と住民・外国人登録の人口は一致していません。地方交付税の算出や国会議員の定数配分などは国勢調査人口により行われ、町の行政サービスや選挙人名簿登録は住民基本台帳により行われています。行政

サービスの受益と負担、選挙権など本来公平でなければなりません。課税、健康・介護保険、年金など受益と負担の公平性をどのように確保していますか。

④平成24年7月までに外国人登録制度が廃止され、外国人も住民基本台帳に登録されます。課税、各種保険・年金、選挙権はどうなりますか。

### 町長

①8月末現在7829人及び48人です。登録していない人数は国勢調査の結果待ちです。

②住民登録者は、情報等が無いため全員居住しているものと判断しています。外国人登録者は、それぞれの研修先等で全員の居住を確認しています。

③住民登録が他の市町村でも、生活の本拠地が本町にあることが明らかであれば課税できます。各種保険・年金は住民登録者でなければ加入できません。外国人登録者は、

1年以上住所を有している場合に課税され、各種保険は住所を有していれば加入でき、国民年金は被用者年金に加入していない登録者が強制加入になります。

④課税などは従前同様の適用となります。選挙権は日本国籍が無いとあり

## 問 高齢者などの避難支援計画は 答 今年度中に策定

### 質問

自然災害などの災害発生時に、高齢者や障がい者などの避難にあたって支援の必要な人を対象とする避難支援計画を策定し、実効性のある対策が必要で

ません。

### 再質問

①所在確認について、情報等が無いため全員居住している、との判断が所在不明者を増やしていくこととなります。国勢調査も利用し、積極的に住民登録者の在任確認をすべきです。

②何年も東川に住んでいない住民登録者も、20歳以上になれば選挙人名簿に登録されます。町長選・町議選の場合、投票しなければ投票率が下がり、

### 町長

今年度内に策定します。有事の際に最も大切なことは、本人や家族による自己防衛、次に隣人住民同士の助け合いであり、そして民生委員さんや行政区、自治振興会、消防団員などの支援です。

### 町長

①国勢調査の中で、住民基本台帳と合っていない部分について、しっかりと調査し把握します。

### 選挙管理委員会委員長

②調査するかどうか委員会で検討します。

### 再質問

個別情報について、直ぐ確認できるような分かりやすいものにすべきです。

### 町長

しっかりと把握し、安心生活をおくれるよう努力します。



# 一般質問

## 問 災害復興対策は 復興キャンペーンなど支援



藤原啓子

### 質問

8月24日未明の集中豪雨により、天人峡温泉・旭岳温泉地区などに甚大な被害が及びました。亡くなった2名の方に深く哀悼の意を表します。ケガされた方、被災した両温泉地区の宿泊客の皆様・施設の皆様にお見舞申し上げます。

- ① 町民への災害周知は、どう対応しましたか。
- ② 忠別ダムの役割はどうでしたか。
- ③ 災害による宿泊客のキャンセル・観光客の減少

### 町長

に、対応策はありますか。  
④ 道・国にどのような要望しますか。  
⑤ 災害の反省と今後の課題について伺います。

① 危険は平地にないと判断、現地の救出を最優先し、町民への直接周知はしていません。

道草館で、通行止等の情報を提供しました。

② ダムの洪水調節がなければ、忠別川下流全域で水位が約1.3〜2.4m高くなり、氾濫被害、特に東橋地点は、周辺住民へ避難勧告が必要となつたと推測します。

豪雨から下流域が守られ、忠別ダムの役割の大きさを実感しました。

③ 天人峡・旭岳温泉では宿泊施設だけで約680

0万円減収と推計します。観光協会が9月25日〜10月31日を復興キャンペーンとして、道新全道版へ復興記事、紅葉情報などを3回掲載し、宿泊客等に新米プレゼントを企画しています。

首都圏で観光客誘致キャンペーンを発信します。町単独では、緊急的運転資金を融資します。

④ 天人峡・旭岳地区のN T T回線や携帯電話が不通となり、防災用衛星携帯電話を利用しました。この衛星携帯の設置を検討します。

道や国には、災害に強い河川・道路の整備を積極的に要望します。

⑤ 夜間・休日の気象情報は、消防署が受けよう進めています。情報連絡、情報収集と予測などの体

### 再質問

制の充実も図ります。自治振興会や消防団等を中心に防災組織を結成し、高い防災意識・防災訓練等も考えています。年に一度は防災会議を開催、関係機関との連絡体制の確認など、防災体制の強化・充実を図ります。

① 災害時に防災無線放送は考えませんでしたか。

② 天人峡温泉地区は大災害が繰り返されています。天人峡温泉全体の安全対策も、国と協議し徹底するべきではないですか。

③ 防災計画で整備計画検討中となつている区域に優先順位を付けて災害予防を実施しませんか。

④ 9月10日に町道の通行止めが解除されました。まだ大雨による土砂崩れが懸念

### 町長

されます。安全対策はどうしますか。

① 必要があれば、防災無線を活用します。

② 天人峡地区防災対策協議会を開催し、危険箇所

の総点検など事前準備を進めます。  
③ 特に忠別ダムの上流域、倉沼川等について総点検をします。

### 長原副町長

④ 土嚢を二重にして対応しました。近く道道に移管します。



削られた道路

# 一般質問

## 問 国際交流を積極的に

## 答 先人の努力開花、語学・文化交流図る



鶴間松彦

の「会話教室」を促進し必要な支援をしてはいかがですか。

③英語、中国語、韓国語による歓迎の表示板や、各施設の案内板の設置を進めてはいかがですか。

④今年の夏休み、中学生・高校生によるキャンモア町への語学研修交流が取組まれました。生徒の反応や成果はどうですか。

⑤これまでの取り組みに対する評価と、今後の方針について考えを伺います。

### 町長

①昨年度に中国・韓国・台湾から北海道に來られた観光客は約百万人です。東川町には年間500人が天人峡、旭岳温泉に宿泊されています。

③案内看板の外国語表示は英語圏をはじめ韓国・台湾等様々な地域から訪れていますので、今後整備をしていきます。

④7月25日から8月9日まで、中学生5名、高校生5名をキャンモア町に語学研修を中心とした助成派遣を行いました。

「英語しか話せず戸惑ったが良かった。メキシコの生徒と同室でとてもためになった。」「自分の英語が相手に通じたことが、自信になった」との声も聞いています。報告会を実施し、今後の事業に活かしていきます。

⑤本町は1985年に写真の町宣言を行い、その条例には「国際交流と写真文化を通じて、世界に開かれた町づくり」とあります。

今、韓国の水原市やヨンオル郡が

ら新たな交流の提案、中国ハルピンからは日本語長期留学の提案、さらに北京から写真ギャラリ関係者の訪問などがあります。

これらは先人が積み上げて來られたものが、いま着実に開花していると評価しています。

世界の言葉の動向は英語であり英会話の人材育成と中国語、韓国語を学ぶ意欲のある高校生等に学習体験の支援を図りたいと考えています。

### 質問

当町ではキャンモア町やルーイエナ町との姉妹提携を結ぶなど、国際交流に取り組んでいます。

町外からは「東川町は国際交流が盛んだ」と町づくりの一つとして評価する声もあります。

①最近では東アジアなどから北海道観光に対する関心が高まっています。これらの諸国からの観光客誘致の取り組みを伺います。

②外国人観光客の受入れと町民への語学普及のため、中国語、韓国語など

また観光活性化協議会が外国語講座を開設すると聞いています。

住民の方には教育委員会が実施しているアグリトピアアカレッジやマイプラン・マイスタディなど積極的な支援を申し合わせています。



国際交流

# 委員会報告

## 総務文教常任委員会

### ◎調査日

平成22年8月17～18日

付与、◎給与及び議員報酬

制)

### ◎調査の意見

の削減と効率的運用、④エネルギー使用量の抑制)

### ◎調査事項

行財政改革推進計画の先進地視察について

(えりも町)

### ◎調査内容

えりも町では、「行財政改革推進計画書バージョン1」（平成17年度～21年度）から「バージョン2」（平成22年度～26年度）を策定している。

新たな項目などを再検討し、町と町民が協働する中で自立した町づくりを進めていくために行財政運営を推進し、5つの重点項目を設定している。

### 5つの重点項目

1 行政組織（①行政組織の見直し、②職員定数と配置、③職員資質の向上、④新たな決裁権限の

2 財政運営（①財政の健全化、②収納対策の強化、③新たな収入源の確保、④中期建設事業計画

⑤特別会計の収支推計）

3 施策検討（①施策・事業・各種行事の見直し、②町民との協働、③各種施設の管理運営、④受益者負担の適正化、⑤少子高齢化への対応、⑥町有財産の売却及び有効活用

⑦各種会費・負担金の精査と検討、⑧各種団体補助の見直し、⑨事業費補助基準の検討、⑩振興奨励補助金交付規則の改正）

4 民間委託（①各種事業の民間委託、②指定管理制度の導入、③し尿処理計画）

5 事務改善（①事務の効率化等の推進、②消費的経費の改善、③公用車

の削減と効率的運用、④エネルギー使用量の抑制)

行財政改革推進計画策定にあたっては、職員からの意見提案を受け、行財政改革推進本部、委員会での検討を行っていること、職員に財政状況を把握させるため毎年町財政の説明会を開催して職員の意識改革に努めていることが興味をひいた。

本町においても、新行財政改革大綱を策定している。引き続き健全財政に向けた取り組みを行うために、現在の大綱の実績を把握し点検するとともに新たな大綱を策定し、安定的で弾力的な行財政運営体制の確立を目指すべきと考える。

### ◎調査日

平成22年8月30～31日

### ◎調査事項

農業者体感施設の先進地視察について

(北広島市)

### ◎調査内容

「ホクレン食と農のふ

## 産業建設常任委員会

れあいファーム・くるるの杜」都市・農業交流施設を視察。消費者に直接向き合い、「食と農」の理解を促進し、北海道農業の持続的発展を目的。

農産物の調理加工体験施設や直売施設、地産地消を実現するレストランを順次オープンし、生産



を順次オープンし、生産

# 委員会報告・意見書

## 総務文教・産業建設常任委員会

## 道路整備に関する意見書

から消費までのプロセスを一体的に体験できる施設を目指す。ホクレンが果たすべき社会的責任と信頼を高めれば消費者と生産者との架け橋となる。

たものをそのまま残し、農業を切り開いた北海道民のシンボルと思えた。体験施設や多目的ハウス・森林遊歩道・足湯を造成し、ふれあい広場を造る計画もある。

の親世代としているところに、次世代に期待するホクレンの思いを感じた。東川町内でも農業者・商業者が連携する「生産・加工・消費」のサイクルを生み出し、六次産業の効果的な施設は可能と思われる。



### ◎調査日

平成22年9月7日

町道における小規模の被災地が9箇所ほどあり、既に現地は砂利等により修復され、使用されていた。

依(10a当)も下回る状況もある。

意見書を採択し、議長名で内閣総理大臣・関係大臣に送りました。

③安全性確保、事故・災害時の対策など道路の整備と維持に必要な予算を確保する。

### ◎調査事項

作況調査及び8月24日の集中豪雨災害による現地調査について

道道天人峡美瑛線は現在一車線であり、二車線必要である。完全復旧には時間がかかることであった。

天候の異変や栽培管理の難しさをあらためて感じた。

道路整備予算を確保し、地方の自主性・裁量性重視の制度にすることが重要として、以下要望する。

④平成23年度から実施される一括交付金制度において、地域の道路整備予算を確保する。

### ◎調査内容

1、作況調査

10 作況調査及び8月24日の集中豪雨災害による現地調査について

忠別川沿の、東川線の町道(忠別ダム天人峡旭岳線・道に移管予定)の被災地の山側斜面の安全性を確保し早期の開通に努め、今後、町も十分な調査検討を行い、国や道に要望されたい。

豪雨の被害は予想以上であった。

⑤事業評価には医療・観光・災害など、地域の問題を考慮する。

⑥地方道路整備臨時貸付制度の維持拡充を図る。

10 作況調査

10 作況調査

10 作況調査

10 作況調査

10 作況調査

### ◎調査の意見

1、作況調査

日照不足・降雨も多く、さらにイモチ病の発生などで、場所によっては8

の難しさをあらためて感じた。

②老朽化した道路施設の長寿命化の費用支援を図る。

2、災害現地調査

10 作況調査

の難しさをあらためて感じた。

②老朽化した道路施設の長寿命化の費用支援を図る。

# 第5回臨時会の主な質疑

(平成22年7月16日)

質問議案	質問者	質問要旨	町長 答弁
共生サロン管理条例について	鶴間松彦	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の内容・利用者・管理者について説明ください。</li> <li>他の施設の利用料より安いのではないですか。</li> <li>料金を説明ください。いつ開始ですか。規定どおり職員を置きますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(保健福祉課長) 自閉症児の一時預かりサービスの提供です。障がい者・お年寄りが主で、一般も利用できます。障がい児親の会を中心にNPO法人を設立し、認可を待つて管理を委託します。</li> <li>(保健福祉課長) 建設費と耐用年数から、木造はコンクリート造より安くなります。</li> <li>(保健福祉課長) 障がい者の受けるサービスに別に料金がかかります。10月1日開始予定で、地域食堂は来年になります。直営でやることになった時のための規定です。</li> </ul>
一般会計補正予算について	佐竹司兆	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通交付税決定額が予想より低かったが、これから3月までどうやっていくのですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の執行残、経費節減で7千万円位は解消できると思います。さらに、辺地債など有利な起債充当で解消も見込まれます。財政調整基金から繰り入れでのぎながら最終段階では圧縮できるように努めます。</li> </ul>

# 第3回定例会の主な質疑

(平成22年9月15日～16日)

質問議案	質問者	質問要旨	町長 答弁
辺地計画について	鶴間松彦 佐竹司兆	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年間の計画ということですが、年次計画は出来ていますか。</li> <li>辺地度の計算基礎となる中心地は、どこになりますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(食原副町長) 毎年、財政状況などを検討し計画を見直します。全項目を5年間でやるのかどうかも含めて、決めていきます。</li> <li>(企画総務課長) 上岐登牛地域は最も奥の最終バス停に隣接する位置に設定しています。東忠別地区も同じく、一番奥のバス停を中心点にしています。</li> </ul>
定住自立圏の協定について	鶴間松彦	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次医療(休日・夜間当番医、救急医療など)について新たな費用負担になりますか。</li> <li>小児医療の輪番制活用で費用負担はどうなりますか。</li> <li>費用負担について、基本的な考えは。</li> <li>消防の連携とは、旭川市防災センターを使うことですか。火災や救急車などの出動はこれまでと変わりますか。</li> <li>大雪山の世界遺産について、美瑛町は今回締結しないし他管内の町村も関係するが、どのようになりますか。</li> <li>産業振興には農業、家具・木工を入れるべきです。</li> <li>空港から動物園などの地域公共交通の連携が必要です。</li> <li>グリーンツーリズムは東川町だけでは不足するケースもあるので、連携が必要だと思います。</li> <li>消費生活相談について説明してください。</li> <li>協定の廃止は書面で通告した日から起算して2年経過後に効力を失うとありますが、何を想定して2年継続なのですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(企画総務課長) 具体的な費用負担は決まっています。今後共生ビジョンを策定する時に、話し合ひで決めていきます。</li> <li>(企画総務課長) 小児医療は、費用負担を想定しています。</li> <li>(企画総務課長) 現時点で負担が想定されるもの、負担のないものという整理です。</li> <li>(企画総務課長) 防災センターとの連携を考えています。災害時には近隣とも連携しますが、具体的には今後協議していきます。火災や救急車はこれまでと同じです。</li> <li>(企画総務課長) 観光地の魅力アップのために要望がありました。協定締結以外の市町村とも今後協議して連携したいと思えます。</li> <li>(企画総務課長) 協定は大きくくりで載せています。共生ビジョンを作るときに実施するときには、農業、木工等について盛り込んでいきます。</li> <li>(企画総務課長) 盛り込んでいきたいと思えます。</li> <li>(企画総務課長) 共生ビジョンを作るときに盛り込んでいきたいと思えます。</li> <li>(企画総務課長) 旭川市消費相談センターに委託、経費は未定です。</li> <li>(企画総務課長) 破棄の申し出がありすぐにストップという訳には行かず、ある程度その事業の終了等を見込んで2年としています。</li> <li>(企画総務課長) 旧病院の物品は今回工事に合わせて処分します。</li> </ul>
一般会計補正予算について	鶴間松彦 藤倉智恵子 佐竹司兆	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきセンターの改装には、旧病院時代のレントゲン機器や物品等の整理費用も含まれていますか。</li> <li>観光客誘致キャンペーン670万円の具体的な事業内容をお知らせください。</li> <li>大雨災害で旭岳温泉の源泉取り入れ口に支障をきたしましたが、補修も予定に入っていますか。</li> <li>君の椅子事業でCDを椅子と一緒に子供にあげるのですか。</li> <li>今後小学校の建て替えもあり基金を積むとのことでしたが、2年度は基金を取り崩していますし、特別交付税も予定額が入ってきていない。基金の積み立ては可能ですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(産業振興課長) 国の雇用事業100%を活用し、首都圏、札幌圏を中心にしたものとエーエージェントに対するキャンペーンを実施します。2名雇用し1名当たり88日間の雇用にします。</li> <li>(産業振興課長) 個人の温泉施設は個人負担ですが、再度調査します。今回は北2線川の災害復旧と幌倉沼川の築堤破損の施工費です。</li> <li>(子供未来課長) 過去にあげたお子さんと、今後生まれるお子さんに贈ります。特別交付税は上川振興局との話しで目いっぱい見込んでいて、到達しないこともあります。基金は取り崩しではなく町づくり交付金の繰り越し分を使っています。今年8000万円積み立てできると考えています。</li> </ul>



# 議 会 日 誌

## 平成22年 8月

- 4～12日 キャンモア町訪問（議長出席）  
 8日 トライアスロンINひがしかわ（副議長他出席）  
 23日 例月公金出納検査  
 （東川町・大雪地区広域連合）  
 中央部定例議長会（東川町当番）  
 26日 第4回水源の里シンポジウム（美深町）  
 （議長出席）  
 27日 北海道神宮神饌田抜穂祭（議長他出席）  
 30～31日 産業建設常任委員会道内先進地視察  
 （北広島市）



## 9月

- 2日 全員協議会  
 定例会前各常任委員会  
 9日 議会運営委員会  
 14日 例月公金出納検査  
 （東川町・大雪地区広域連合）  
 15～16日 第3回定例会  
 17日 交通安全祈願祭  
 27～28日 議会運営委員会道内先進地視察  
 （豊富町）

## 10月

- 12日 議会報編集特別委員会  
 19日 例月公金出納検査  
 （東川町・大雪地区広域連合）  
 議会報編集特別委員会  
 22日 議会報編集特別委員会  
 27日 上川管内町村議会議員研修会（旭川市）  
 28日 平成21年度東川町一般会計・特別会計決算  
 審査特別委員会  
 全員協議会



稲刈りも終わり、露地野菜も最後の収穫時期である▼春先に雪解けが遅くて心配した米作は、7月には高温で一挙に遅れを取り戻した。一昨年の大豊作を期待したが、思いの外伸びなかった▼かつてない高温と平年の2・5倍の降水量と云う異常夏のせいでイモチ病が発生し、収量がガタ落ちした農家も少なくない。人参・イモ・玉葱などの野菜も、成りが悪く傷みやすぐに不作となった▼野菜の売値は高いが収入は減である。国内需要を上回る「米余り」、売値が毎年のように下落している▼「実りの秋」を素直に喜べた農家はいかに少ないか。平年より寒い予想の冬が来た

### 編集後記